

評価について

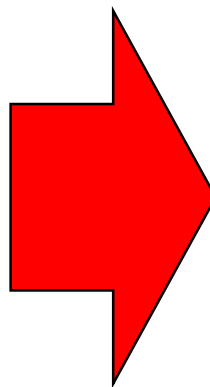
令和元年5月17日（金）

講師：長崎県教育庁体育保健課 学校体育班 杠 友樹₁

評価の観点について

指導内容

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等

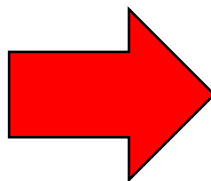


評価の観点

- 知識・技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

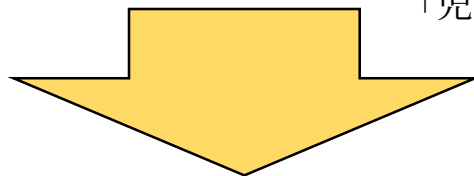
学習評価の在り方について

学習評価



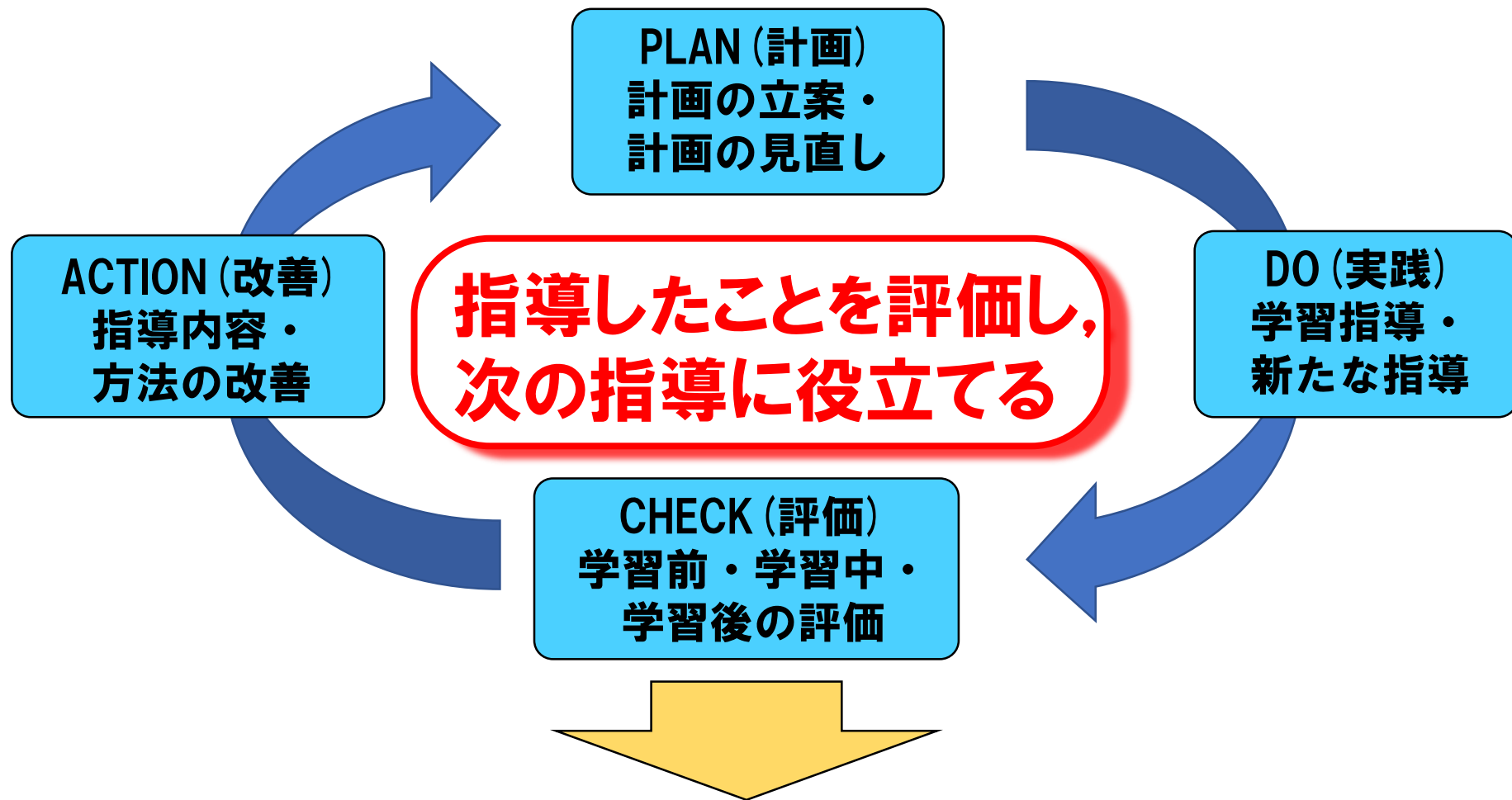
- ①児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ②教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」
(平成31年1月21日)



**学習指導と評価が一体となることが重要
(指導と評価の一体化)**

指導と評価の一体化について



児童生徒のよりよい成長を目指す

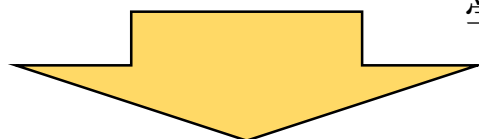
(全ての児童生徒が概ね満足の状況になるよう指導していくことが重要)

評価の留意点について

知識及び技能の指導内容

マット運動	回転系	転技	後転	太転がり かえるの逆立ち かえるの足打ち うさぎ跳び 壁上り 逆立ち	後転 開脚後転（伸膝後転）	伸膝後転（後転倒立）
		ほん転技	倒立回転	背支持倒立（首倒立） 壁上り逆立ち ブリッジ かえるの逆立ち かえるの足打ち	補助倒立ブリッジ（倒立ブリッジ） 側方倒立回転（ロンドアート）	倒立ブリッジ（前方倒立回転跳び） ロンドアート
			起はぎね	うさぎ跳び 支持での川跳び	首はね起き（頭はね起き）	頭はね起き

学習指導要領解説 P.175の一部



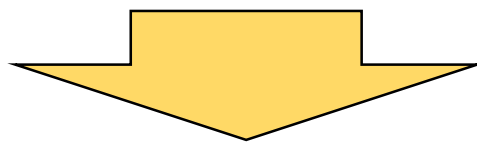
評価規準の作成及び指導と評価の計画の作成に併せて、特に、知識及び技能では、各学年の例示をもとに、「できる」、「できない」の評価ではなく、質的な変化を見取る評価が重要

評価の留意点について

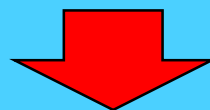
思考力、判断力、表現力等の指導内容

器械運動系	器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える	自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える	自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える
-------	---------------------------------------	---	--

学習指導要領解説 P. 182



指導内容を整理し、単元を見通した上で、いつ指導し、いつ評価するのかを明確にすることが重要



評価規準の作成及び指導と評価の計画

評価の留意点について

学びに向かう力、人間性等の指導内容

器械運動系	<ul style="list-style-type: none">・ 運動遊びに進んで取り組む・ 順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をする・ 場や器械・器具の安全に気を付ける	<ul style="list-style-type: none">・ 運動に進んで取り組む・ きまりを守り誰とでも仲よく運動をする・ 友達の考えを認める・ 場や器械・器具の安全に気を付ける	<ul style="list-style-type: none">・ 運動に積極的に取り組む・ 約束を守り助け合って運動をする・ 仲間の考えや取組を認める・ 場や器械・器具の安全に気を配る
-------	---	--	--

学習指導要領解説 P. 184

指導内容を整理し、単元を見通した上で、いつ指導し、いつ評価するのかを明確にすることが重要

評価規準の作成及び指導と評価の計画